

はじめに

福田は何ものか？（大学職員歴）

1992（H4）学校法人大阪国際学園入職（大阪国際女子大学・短期大学勤務）
一貫して入試課で学生募集担当、将来計画室兼務

2000（H12）学校法人高知工科大学入職
H12～入試
H17～企画広報（入試兼務）
H19～局長付企画調整担当：新学部開設（入試広報兼務）
H20～入試広報（企画調整兼務：工学部再編/公立大学法人化）

2009（H21）公立大学法人高知工科大学入職
H21～企画広報（入試兼務）
H22～総務
H23～広報室兼務（H24まで）

教務系の人間ではありません。場違い？

場違いな私がここにいる理由①

高知工科大学 浜田 正彦 様

平成24年5月1日

愛媛大学教育学生支援部 米澤 慎二

お世話になっております。突然のお願いで申し訳ございません。
すでに、ご承知のとおり、SPODでは、毎年夏にSPODフォーラムを開催しています。昨年までは、愛媛大学を会場として実施していましたが、参加者からの要望もあり平成24年度は、8月22日（水）～24日（金）の日程で、徳島大学で実施することとなりました。

連休前のSPODコア協議会で、徳島大学からフォーラムの全体案が提案され、検討した結果、メインとなるシンポジウムには、職員の立場から話ができる人材が必要ではないかとの意見があり、そこで、佐藤先生から、高知工科大学さんの職員の方で、どなたか推薦してもらえないだろうかとの話がありました。

佐藤先生としては、アクティブ・ラーニングでは、環境、建物も重要である。その点では、研究室がガラス張りだったり、空間にもこだわりがあり、全国の大学でも高知工科大学はかなり斬新的な取組をおこなっている。そこで、事例として、高知工科大学における学修環境整備状況を「アクティブ・ラーニングを促す学習環境整備」のようなタイトルでお話していただける職員の方を紹介していただきたい。というのが今回のお願いの趣旨です。

私から福田部長のお名前を出させていただきましたが、他に適任者がいれば、ご推薦いただければと思います。また、できれば、連休明けの7日には全体のプログラムを確定したいと考えています。ご配慮いただければ幸いです。勝手なお願いで申し訳ありませんが、ご検討の程、よろしくお願いいたします。

場違いな私がここにいる理由②

愛媛大学 米澤 さま

平成24年5月2日

おはようございます。突然の申し出、ありがとうございます。
申し出を受ける方向で検討します。
福田本人には、まだ了解を取っていませんが、大学として対応します。
（米澤さんのお願いですから）

はまだ



福田 さま

よろしくお願いします。

はまだ

？ ？ ？ ？ ？ ？

アクティブ・ラーニングって何？

「アクティブ・ラーニング」とは「能動的な学習」のことで、授業者が一方向的に学生に知識伝達をする講義スタイルではなく、課題研究やPBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）、ディスカッション、プレゼンテーションなど、学生の能動的な学習を取り込んだ授業を総称する用語である。

- 学生参加型授業
e.g. コメント・質問を書かせる／フィードバック、理解度を確認
クリッカー／レスポンス・アナライザー、授業最後／最初に小テスト／ミニレポートなど
- 各種の共同学習を取り入れた授業
e.g. 協調学習／協同学習
- 各種の学習形態を取り入れた授業
e.g. 課題解決学習／課題探求学習／問題解決学習／問題発見学習
- PBLを取り入れた授業
e.g. Problem-Based Learning／Project-Based Learning

提供：溝上准教授

Kawaijuku Guideline 2010.11／溝上先生インタビュー記事より抜粋引用

アクティブ・ラーニングの質を高める装置

（授業）

- 書く・話すというアウトプットの活動（コメント用紙、レポート、ディスカッション、討論、プレゼンテーションなど）
- さまざまな他者（学生同士、教員、専門家・地域住民など外部者など）の視点を取り入れ、自己の理解を相対化させる
- 宿題・課題を課す（授業外学習）
- 新たな知識・情報・体験へアクセスさせる（調べ学習、体験学習）
- リフレクション（形成的・総括的評価）
- 多重評価（小テスト、発表、質問、プレゼンテーション、学生同士のピア評価など）

（その他）

- e-learningによる基礎学習・自学自習システム
- カリキュラムサポート（他の科目との連携）
- ・ 導入科目（初年次教育、創生型科目、演習・実験など）と連携
- ・ 実習・体験学習・フィールドワーク（病院、学校、施設など）と連携
- 学習支援センター・コーナー（質問、学習相談など）
- 学習環境の整備（図書館、自習室、教室デザインなど）

提供：溝上准教授

Kawaijuku Guideline 2010.11／溝上先生インタビュー記事より抜粋引用

場違いな私が何をしゃべるのか

平成24年5月1日

高知工科大学 浜田 正彦 様

愛媛大学教育学生支援部 米澤 慎二

お世話になっております。突然のお願いで申し訳ございません。
すでに、ご承知のとおり、SPODでは、毎年夏にSPODフォーラムを開催しています。昨年までは、愛媛大学を会場として実施していましたが、参加者からの要望もあり平成24年度は、8月22日（水）～24日（金）の日程で、徳島大学で実施することとなりました。

連休前のSPODコア協議会で、徳島大学からフォーラムの全体案が提案され、検討した結果、メインとなるシンポジウムには、職員の立場から話ができる人材が必要ではないかとの意見があり、そこで、佐藤先生から、高知工科大学さんの職員の方で、どなたか推薦してもらえないだろうかとの話がありました。

佐藤先生としては、**アクティブ・ラーニングでは、環境、建物も重要である。その点では、研究室がガラス張りだったり、空間にもこだわりがあり、全国の大学でも高知工科大学はかなり斬新的な取組をおこなっている。そこで、事例として、高知工科大学における学習環境整備状況を「アクティブラーニングを促す学習環境整備」のようなタイトル**でお話していただける職員の方を紹介していただきたい。というのが今回のお願いの趣旨です。

私から福田部長のお名前を出させていただきましたが、他に適任者がいれば、ご推薦いただければと思います。また、できれば、連休明けの7日には全体のプログラムを確定したいと考えています。ご配慮いただければ幸いです。勝手なお願いで申し訳ありませんが、ご検討の程、よろしくお願いいたします。

アクティブ・ラーニングを 促す環境整備



公立大学法人 高知工科大学
福田直史

福田は考えた・・・

アクティブ・ラーニングは学生自身を
「その気にさせる」**しかけ**。



「その気」になれば、**勝手に学習**しよる。



使える人材になる。

なるほど・・・

その目線で高知工科大学を見る

高知工科大学は・・・

『人が**育つ**大学』

岡村甫理事長
(2代目学長)
※KUTファウンダーの1人

岡村理事長いわく

人を育てるなんておこがましい。

我々は人を育てることなんてできない。

ただ、**人が育つための手助け（環境の整備）**はできる。

その環境で生活することで、人は勝手に育つ。
学生だけでなく、教職員、本学に関わる全ての人が育つ大学をつくる。

なるほど・・・

**人が育つための手助け
（環境の整備）**

『人が育つ』大学のしかけ①

学修環境整備（ハード）

【コンセプト】 人と人が交わる場・オープン設計

刺激・モチベーション

教育研究棟

1F: 研究室・講義室

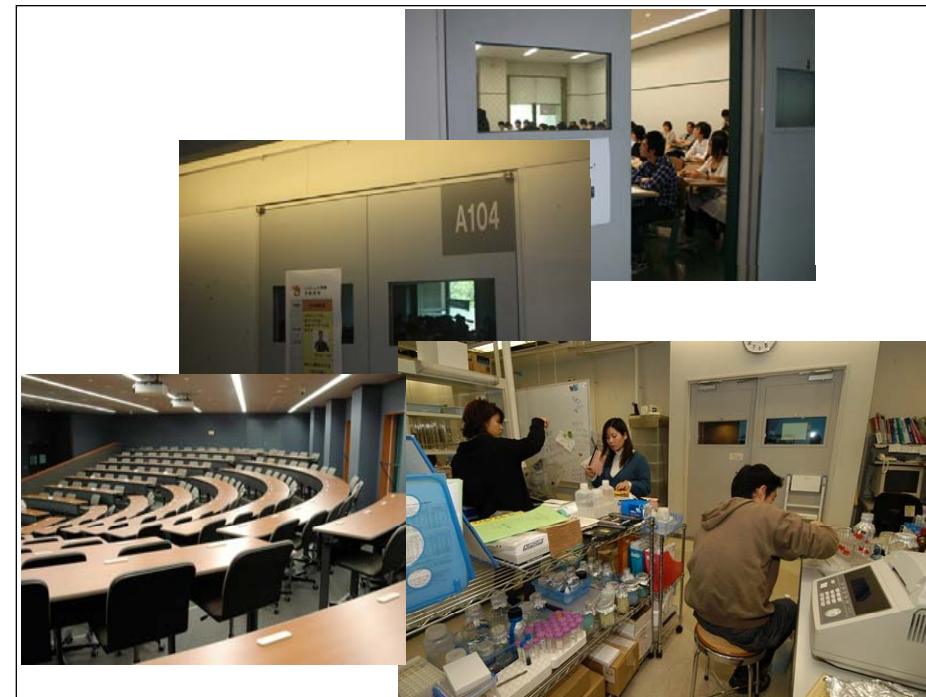
4F: 教員室・コモンスペース

コリドール

人が交わる場



教育研究棟 1 F



教育研究棟 4 F



コモンスペース

“人が育つ”建物の工夫

学生と教員が日常的に出会うように設計された教育研究棟。その4階にあるコモンスペースは、誰でも雑談からミニ授業まで自由に使えるコミュニケーションスペースです。その周辺にガラス張りの教員室があり、先生の研究姿勢も丸見えです。

『人が育つ』大学のしかけ②

質を高める装置(ソフト)

【システム】 クォーター制・全科目選択制・早期卒業制度
教育講師制度・オフィスアワー

【しかけ】 学会発表・スタディスキルズ・少人数セミナー
奨学金・表彰・特待生・留学

【授業】 クリッカー・小テスト・レポート・宿題

クォーター制

“短期集中”で学ぶ

1年を四期に分け、8週間を一期とする制度。
一週間に1つの科目が2コマ進み、技術や知識
を確実に身につけながら短期間でステップアッ
プできるので、興味のある学問領域に、早く、深
く、触れることができます。

教育講師制度

入学から就職までサポート

社会・企業経験豊かな教育講師が4年間継続
して学生を指導・支援します。学生のやる気を
引き出し、人間力を高める高知工科大学独自
の制度。何でも相談に乗ってもらえる心強い存
在です。

スタディスキルズ

社会・企業経験豊かな人生の大先輩から学び方を学ぶ

徹底した少人数指導で、実社会に必要な「論理的に、
正確に、読む・書く・話す力」を高め、学ぶ意欲と目的意
識を養う、KUT独自の科目「スタディスキルズ」。高校と
大学との「学び方」の違いを認識し、そのギャップを埋め
るための架け橋となる導入科目です。授業では課題や
演習を通じ、レポートの書き方から、プレゼンテーション
力、問題点の見つけ方、解決法までを学べるよう、細や
かにサポートしていきます。教育講師が、それぞれの
キャリアを活かし、専門分野に関連したテーマについて、
演習中心の授業を行います。

なるほど・・・

高知工科大学は
アクティブ・ラーニング
に取り組んでいるんだ！！

高知工科大学流に言うと

アクティブ・ラーニングは

『人が**育つ**』仕組み！！

さて、その成果は・・・

？

ふくだの本音

成果はまずまず。

- 就職率・質（途切れていない企業とのパイプ）
- 学生との距離感・学生満足度
- 出席率.....etc.

でも・・・

ちょっと手をかけすぎの感あり。
どこまでが**本当に必要な**部分なのか……

ご清聴ありがとうございました。

ふくだ